

# 釧路南ロータリークラブ会報

第13回 例会報告 2013.10.4 通算1508回

## ・ガバナー公式訪問

例会に先立ち、葎本ガバナーをお迎えし、クラブ協議会を開催いたしました。



クラブ協議会



クラブ協議会



クラブ協議会



クラブ協議会



クラブ協議会



葎本ガバナー総評



クラブ協議会



佐藤玄史会長謝辞



長江パストガバナー補佐謝辞



葎本ガバナー・北川ガバナー補佐  
佐藤玄史会長・佐藤了幹事と記念撮影

・点 鐘 佐藤玄史会長

・ロ - タリ - ソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 上川原 昭会員

・お客様と来訪ロータリアンの紹介

国際ロータリー第 2500 地区ガバナー 葎本正美様  
国際ロータリー第 2500 地区 地区幹事 漆崎隆様  
国際ロータリー第 2500 地区  
地区副幹事 渡部哲夫様

国際ロータリー第 2500 地区

第 7 分区ガバナー補佐 北川健二様

国際ロータリー第 2500 地区

第 7 分区ガバナー補佐幹事 田村憲一郎様

・会 長 挨拶



こんばんは、本日はガバナー公式訪問例会です。会長幹事懇談会・クラブ協議会そして公式訪問例会とクラブとしても一大行事です。

葎本ガバナーを迎えての公式訪問例会です。2500地区 66 クラブを訪問する大変な仕事です。改めてお礼を申し上げます。南ロータリークラブの活動の今後のご指導と合せてご協力をこの訪問例会で当クラブへの御尽力していただきありがとうございました。今後の活動の指針とさせていただきます。あわせて、本日は夜間例会ですので、葎本ガバナーの歓迎懇親会で労をねぎらうことといたします。よろしく願いいたします。

・幹 事 報 告

- \* 釧路西 RC よりクラブ活動計画書あわせて根室 RC より 10 月のプログラムとクラブ会報、釧路北 RC ・釧路東 RC より 10 月例会プログラムを拝受しております。並びに釧路北ローターアクトクラブよりダンススクールでエクササイズをと 10 月 7 日参加の案内が来ております。回覧しておりますが、参加希望者は幹事まで。
- \* 平成 25 年度「赤い羽根共同募金」及び「歳末たすあい募金」運動へのご協力のお願いがきております。回覧しております。

- \* 当クラブへ国際ロータリー第 2530 地区福島中央ロータリークラブ坂本会長より東日本大震災に対しまして、摩周湖の水支援に対しまして、感謝状が届いております。

## ・委員会報告

### 親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金  
葎本ガバナーよりお志をいただきました。

## ・本日のプログラム

### 「ガバナー公式訪問」

担当 会長・幹事



乾杯の音頭 伊東会員



北川健二第7分区ガバナー補佐ご挨拶



葎本ガバナー講演

皆さん、あらためましてこんばんは。先ほどの協議会の延長でございますので自己紹介はさておきまして、私は、今年だけは簡単に「ロータリーはいかに楽しむのか」を主張していきたいと思っております。今年楽しく、簡単・明瞭に話していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。国際協議会が開催されましたのは、サンディエゴという町で行われました。サンディエゴは、メキシコのすぐ傍にあります。ここに、空母ミッドウェーがあり、太平洋艦隊の基地がありまして、ここに世界中から534人のガバナーが来ておりまして、役員や奥さん方を入れますと、約2000人規模の国際協議会です。その中で、私達が釧路北ロータリークラブの時に青少年交換事業で預かり、お世話した青少年ビクター君がサンディエゴに住んでおりまして、その子とここで会うことができました。日本を離れ、年数も経っているのに、いまだに40歳の中年に「お父さん」と呼ばれ、複雑な気持ちでしたが、ロータリーの素晴らしさを味わってきた訳でございます。次に、ポリオの話は先程お話をさせていただきましたので流させていただきます。会場には各国の国旗が並んでおりまして、地図もありました。そこでロンバート会長さんは、誇らかな顔で言っております。

ロンバートさんはお金集めに一生懸命な方でして、ロータリーは親睦団体ではなく慈善団体だということをロンバート会長さんは強調しており、寄付をたくさんお願いしたいということを言っております。粧業奉仕とかはもちろん重要なことなのですが実際具体的に人を助けるということがどういうことか、どういうことが出来ますかという、やはりロータリークラブに属していないと出来ないのです。1万円あるから人助けに行きましょと言っても1万円じゃ何も出来ないのです。ロータリー財団の、ロータリーの力がなければ出来ない訳ですから昼ご飯を食べるだけではなくて、何か世界に良いことをしようと言う事が大切ではないかと私は思います。この写真は、ロータリーの国際協議会のネットで最初のページです。この方が私の恐い奥さんでして、美人は3日で飽きるけれどもブスは3日で慣れると言いだちらかは解りませんがともそういうことです。ここで東京音頭を踊りました。私が入って、田中直前会長がいます。R I 会長とロンバート会長エレクトに挟まれて手拍子をしたという貴重な私の思い出の写真です。私は寄付を取られるかと思ってビクビクしておりましたが、何とかクリア致しました。そこでロンバート会長さんを囲んで、この方が東京ロータリークラブの議長で舟木さんという方で、初めて女性のガバナーでございまして、ロータリー財団の研修会でポンと2500万円を出しますと言いまして、お金のある人は、お金のあるような行動をするものだと思いました。これも伊東代議士が頑張って自民党政権になったからではないかと思えます。ロータリーの奉仕は私たちが考えているよりズート大事であると言う事を、ジョンヒューゴ事務総長が言っております。事務総長とは我々が考えている以上に偉い人でロータリーの会長は毎年変わりますが、事務総長は殆ど変わりません。10年間程変わりませんので、非常に力を持っております。それはそれと致しまして我々の奉仕は大切なのだ、そこで私の標語としましては、「讚えよう 地域を！クラブを！会員を（自分）を！」ということでございます。これは超我の奉仕に逆らった標語でございまして、私も道下先生に電話するまでは、自信満々でしたが、道下先生に怒られると思いましたが、何とか、や一君評

判良いよと言う感じで言われました。と言うのは、今までは超我の奉仕は、自分よりも他人にまずはやりましょよと言う事でしたが、私はそうは思いません。私は自分が大切なのだ、自分がなくしてロータリークラブは無いんだ、自分を楽しんで、隣に座っている長倉さんを褒めて、ガッチリ褒めて体重を減らしてお互い頑張りましょ。南ロータリークラブさんを褒めまして、釧路は不景気だけれども大丈夫、伊東代議士がついているから大丈夫だ、と言うような感じで前向きに楽しく考えて行こうと私は思っております。深く考えると碌なことがございせんので、これは伊東代議士に任せて、釧路経済は大丈夫だと言う事を今日、確約して頂けるそうでございます。そこで、ロータリーの出会いに感謝と言う事でございます、会長さんが私の標語を使って頂きました。ロータリーの出会いに感謝、これはどのような事かと申しますと人に寄って其々違いますが、ロータリーのEクラブの中に4分程のビデオが有るわけです。そこで奉仕したい人は沢山いるのですが、ところが奉仕の仕方が解らない方が多いわけです、例えば、一万円持っていてロータリーの奉仕をしたいと思いましても、精々個人で出来ることは、ゴミ拾いとかくらいしかできません。ロータリーの力を借りますと、皆でやりますから、色々なことが出来ます、例えば財団でもって一万円を持ってアフガニスタンの子供を救いましょと言っても何も出来ないわけです。例えば全国のロータリアンが力を合せてやれば、この一万円が何人かの命を救える訳です。これは非常に大切なことだと思います。ですからロータリーで人と出会う事も大切なわけですが、奉仕が出来ると言うことも大切であると思えます。両方楽しく出来ることが理想でございます。まずは自分を考えましょよという私の考えです。これは、私の1年間の考えですのでご容赦願いたいと思えます。超我の奉仕もちろん大切ですが、まず自分たちが奉仕をして、自分たちが楽しまなければいけないのではないかと思えます。隣に座っているロータリアンの方、夫婦の奥さん・子どもを讚えて、讚えて、楽しくしようということが私の気持ちです。もちろん、クラブは素晴らしいクラブだと誇りを持って、地域も誇りも持って、皆さんも自分たちで褒め合っ

で行きたいと私は思っています。今回、私のクラブの皆さまのおかげで、ロータリーの色々な方とお会いして、ロータリーの出会いには本当に感謝しています。また、地域のロータリーの奉仕をこのような小さいエリアでも、素晴らしい奉仕をしていることを見させていただき、本当に、勉強になりました。そこで、明るく、楽しく、自分も・会員も、居心地のいい楽しい1年を皆さんに味わっていただきたいと思っております。毎週、このように皆さんとお顔を合せるということは素晴らしいことで、親・兄弟でもなかなか出来ないことであります。まして、このような高級な料理を食べて、我々もそうですが例会が出来るというクラブは2500地区でいえば、3分の1位だと思います。他の地域では、弁当を食べるクラブが3分の1あります。〇〇商工会の会議室や〇〇銀行で行うなどがあります。それでも、皆さんがこうして頑張っているのであって、ご飯のないロータリークラブもあります。そこで「長所を見つめ、ロータリーの楽しさを追求しましょう」ということですが、いかに我々が問題点を見つけて改善しようとすると、「短所はここだから、これを改善しよう」とします。ですが、「短所というのは、まず、埋まらない」と考えてもらえればいいと思います。そこで「長所でカバー出来るくらい、長所を伸ばしましょう」と私は思います。これは「〇〇をすべき、〇〇をしなければいけない」が、クラブの発展を阻害していると、私は色々なクラブに行かせていただいて感じているところです。我々の地区・分区で、そうでないクラブもありますが、我々のクラブでは、入って2年で副幹事、3年目に幹事、5年目に会長というのが大体のパターンなのです。3年目でクラブ幹事になった人が、先輩にどういう風にしたらいいのでしょうかと聞くと、自分で考えて、自分のやりたいことをしましょうよというのが、我々のクラブです。ところがなかなか、そういうクラブが少ないのが現状で、〇〇様クラブが多いので、会長・幹事が、心底やりたいことが出来ないクラブが多いようです。私は、どのクラブでも訴えているのですが、クラブの活性化というものは、〇〇様クラブではなくて、その会長・幹事、最高決定機関である理事会を立てるようにして、それに従うことが最高のクラブの活

性化であると思います。それを行うことで、ホッとするクラブになると思います。一番大切な事は、自分のクラブに入りたいですかという質問一語に尽きると思います。画期的な方法はありませんかと聞かれるのですが、あれば私のクラブで聞きたいなと思うくらいで、会員拡大で苦勞しないクラブは少ないのではないかと思います。ロータリーのお客様は一体誰なのだろう。自分のスポンサーのためか、会社のためか、奉仕された地域のためか、世界のため、色々あると思いますが、やはり我々が感動する喜び、奉仕する喜び、ふれあう喜び。という感動を味わうことが、素晴らしいことであって、ロータリーのお客様というのは、誰でもない自分達ではないかなと思います。

未来の夢計画は省きまして。

本当に、本当にですね、職業研修チーム(VTT)に福井さんが2年間かかりっきりでありまして、血尿が出るくらい悩まされました。今年の8月11日に旭川北ロータリークラブの森山先生が団長で、歯科衛生師が3人と技工士が1人の4人でプーケットに行ってきました。歯科の奉仕をして参りました。歯科の奉仕と言いましても、ただ歯を抜くだけでは無く、もっと高度な、向こうの保険局との付き合いの中で、自分たちの歯科のレベルを上げる事と疫が調査でございます。非常に大成功で帰ってきました。本当にですね、これが世界で良いことをしようと言う事でございます。財団へ皆様が一万円を寄付すると、どれだけの人間が救われているかと言う事でございます。

これは釧路にいても解りませんし、日本にいてもなかなか解らないですけども、私は、ここに渡部さんと一緒に、6、7年前に皆さんに1,000円ずつの寄付のお願いをしまして、地区のお金も使い、ここに、バンコクから250K位の所に浄水器を作りました。このような奉仕活動でこんなに喜んで頂けるのかと思いました。それからマツチングランドのとりこになりました。マツチングランドとは3万ドルかかると思います、一万ドルは地区のDDFで出します、5000ドルは貰った国がお金を出します、貰った国の方々がお金を出させないと大切に使わないものですから、お金を出させます。それで一万五

